



CPDM

Center for Photodynamic Medicine  
Kochi Medical School, Kochi University

# NEWS LETTER 光線医療センター

2025年 第7号

## 横浜で開催された第11回ポルフィリン-ALA学会で学会発表

2025年7月11日(金)、東京科学大学すずかけ台キャンパスにて、「第11回ポルフィリン-ALA学会」が開催されました(大会長:小倉俊一郎先生)。

本学会は、同大学ご出身でノーベル生理学・医学賞を受賞された大隅良典先生の名を冠した「大隅ライフサイエンス研究会」との合同開催であり、医学・理学・工学・獣医学・農学など多岐にわたる分野の研究者が一堂に会し、産学の垣根を越えて最先端の研究成果を共有する、世界的にも大変貴重な学術集会となっています。我々光線医療センターも、学会発足以前から継続して参加しており、今回も活発に活動いたしました。当センターからは、Anantya Pustimbara先生がトップバッターとして登壇し、続いて大学院生の重久 立先生も発表を行いました。また、山本 新九郎先生が学会奨励賞を受賞され、学会の締めくくりとして受賞講演を行いました。たいへん名誉ある受賞であり、センターとしても大きな喜びです。受賞おめでとうございます。

学会後の懇親会では、分野を超えた研究者同士の交流が活発に行われ、新たな研究シーズや将来的な共同研究のきっかけとなる貴重な出会いもありました。

今後も、光線医療センターは世界に向けて発信を続け、光線医療の発展と臨床応用に貢献して参ります。



下記の光線医療関連の学会・講演が行われました。

2025/06/14日本泌尿器科学会 千葉地方会 特別講演

[筆頭] 井上啓史

「光で診て、光で治す」

2025/06/29第66回 日本臨床細胞学会総会（春期大会）ランチオンセミナー

[筆頭] 井上啓史

「新しい癌医療の道を照らす—光で診て、光で治す—」

2025/07/05涌泉会 第28回関西腎泌尿器外科研究会

[筆頭] 井上啓史

「可視化と分子標的で切り拓く 尿路上皮がん診療の未来」

2025/07/14大阪大学大学院工学研究科「先端医療工学」講義

[筆頭] 井上啓史

「光で診て、光で治す」

2025年7月11日第11回ポルフィリン-ALA学会

[筆頭] Anantya Pustimbara

「Molecular Basis of Hemin and 5-Aminolevulinic Acid Photodynamic Therapy in PC3 Prostate Carcinoma cells: Integrating Apoptotic Pathways and Computational Drug Interactions」

2025年7月11日第11回ポルフィリン-ALA学会

[筆頭] 重久 立

「尿路上皮がん細胞株に対する ALA-PDTと FGFR 阻害薬の組み合わせ効果の検証」

2025年7月11日第11回ポルフィリン-ALA学会

[筆頭] 山本新九郎 **（ポルフィリン ALA学会奨励賞受賞講演）**

「Clinical Evaluation of Photodynamic Screening (PDS) Using 5-Aminolevulinic Acid for Multi-Cancer Risk Assessment: Results from a Prospective Trial」

2025年7月12日第2回肝尾状葉研究会

[筆頭] 谷岡信寿

「ICG蛍光法を用いた尾状葉境界可視化の取り組み」

2025年7月16日第80回日本消化器外科学会総会

[筆頭] 西山典寛

「腹腔鏡下胆嚢摘出術の際にICG蛍光胆道造影を用いて異所性胆管からの胆汁漏が回避できた1例」

2025年7月18日第80回日本消化器外科学会総会

[筆頭] 谷岡信寿

「ICG蛍光法が可能にしたprecise left lateral segmentectomy—肝実質温存・合併症軽減の観点から考える—」

光線医療センター ニュースレター 2025年 7月 25日 発行

発行責任者・編集責任者：井上 啓史

（高知大学医学部 光線医療センター センター長）

文責：福原 秀雄 <https://www.kochi-u.ac.jp/kms/CPDM/index.html>